

# 機動規制系の運用によるゾーン30プラスの早期整備について

## 青森県警察

### 青森県の交通事故発生状況(令和3年)

○発生件数 2,458人(前年比 +22件 +0.9%)

○死者数 29人(前年比 +1人 +3.6%)

○負傷者数 2,919人(前年比 -20人 -0.7%)

# 青森県警察本部 交通部 交通規制課 機動規制係の紹介

- 機動規制係とは・・・  
交通規制に関する専門知識を有し、青森県内の小・中規模警察署の業務支援を行うプロフェッショナルチーム
- 編成  
警部以下7人
- 発足  
令和3年4月1日

## 機動規制係の活動状況

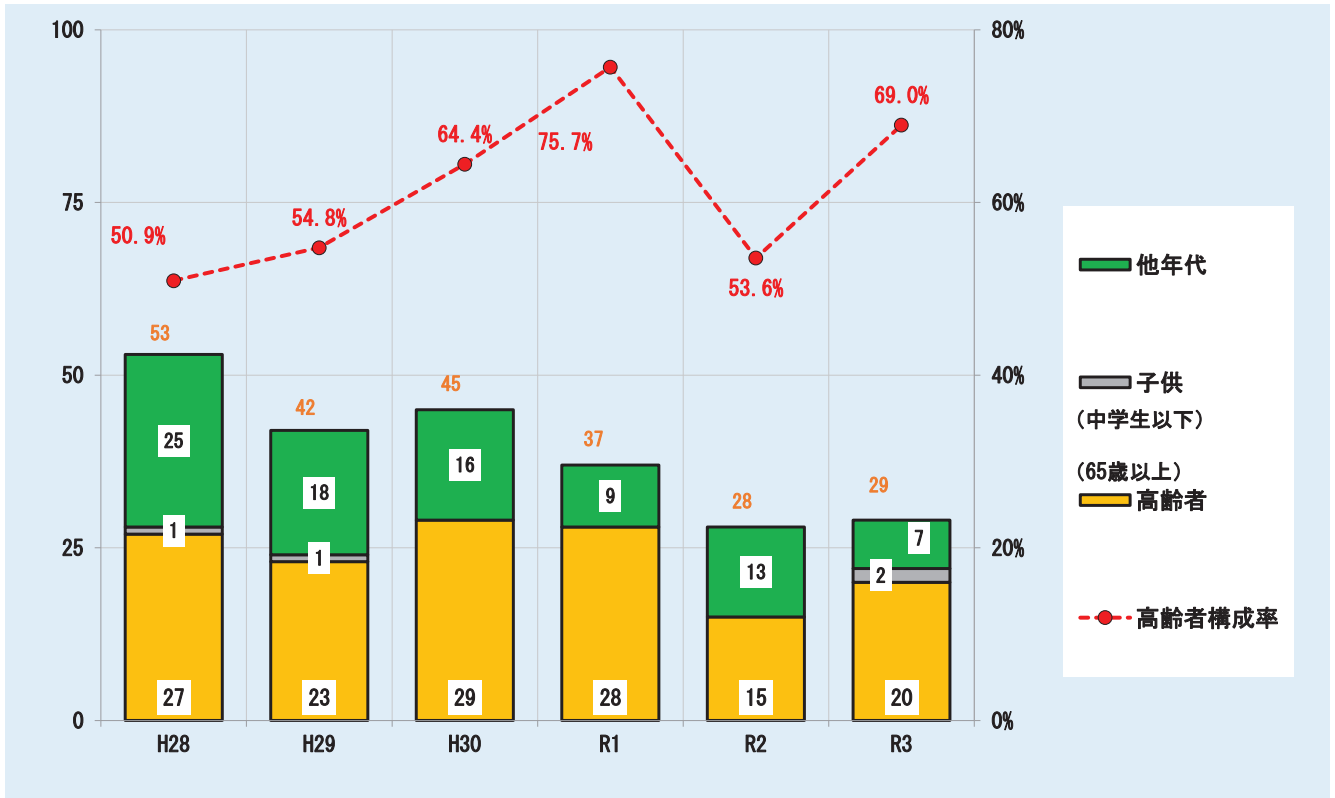


交通規制に関する教養状況



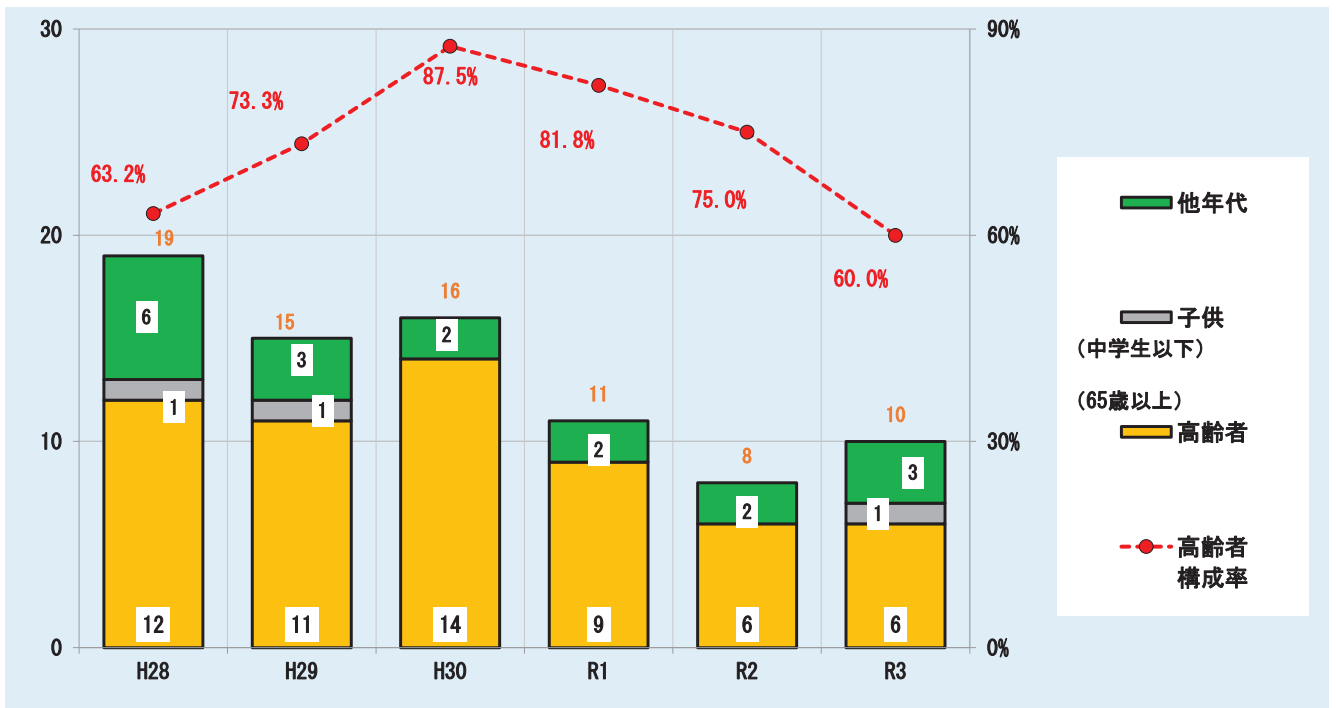
道路協議の支援状況

# 令和3年中の交通死亡事故分析結果



青森県内年齢層別の死者数推移

○死者29人中、高齢者は20人 (+5人)、子供2人 (+2人)



青森県内歩行中の死者数推移

○歩行中の死者10人中、高齢者は6人 (±0人)、子供1人 (-1人)

## 青森県内の通学路の合同点検結果

青森県内で警察の対策が必要な箇所・・・129か所  
そのうちゾーン30等の新設要望・・・33か所



令和3年の交通死亡事故分析結果及び通学路の合同点検の結果、生活道路における高齢歩行者等の安全確保のためには「ゾーン30プラス」の早期整備が効果的かつ不可欠と判断



機動規制係による各警察署・道路管理者への「ゾーン30プラス」整備に向けた働き掛けの強化

## 青森県内のゾーン30プラス整備地区

○弘前市 城西地区（狭さく）

○むつ市 昭和町地区  
（スムーズ横断歩道等）

○深浦町 北金ヶ沢地区（狭さく）

○田子町 （スムーズ横断歩道等）

# 機動規制系の田子町における活動状況

## ○ 田子町の選定理由

- ・ これまでゾーン30が整備されていない
- ・ 住民の交通安全意識が高く、自治体を中心として積極的に活動をしている
- ・ 幼稚園、小学校、中学校等が近接し、「ゾーン30プラス」の効果が期待できる
- ・ 田子町役場から整備に関する問合せあり。

## ○ 整備上の問題点について

- ・ 除雪作業の障害→田子町は降雪量が少ない
- ・ 音や振動がうるさい、貨物車の通行の障害  
→首長を始め自治体や住民の交通安全意識が高く理解が得やすい

## ○ 道路管理者との協議状況

機動規制系、三戸警察署、役場の三者で協議

- ・ 田子小学校を中心としたエリアに警察でゾーン30を整備
- ・ スムーズ横断歩道や狭さくを設置
- ・ 田子町の予算で物理的デバイスの工事実施が決定。

## ○ 「田子町地域安全推進協議会」との協議状況

役場担当者から協議会へ説明を行ったところ、賛同を得られたことから整備が正式決定



令和4年11月完成

## スムーズ横断歩道を活用した交通安全指導の状況



## 早期整備に貢献した機動規制係

今回、早期整備を実現できた理由として

- 機動規制係が事前調査を実施した上、候補地を迅速に選定し警察署へ働きかけたこと
- 規制エリアに町役場を入れ、首長を始めとした自治体から理解と協力を得られたこと
- 機動規制係が中心となって、自治体に対して物理的デバイスの設置や規制効果等について丁寧に説明したこと
- 専門知識を有する機動規制係が自治体と警察署のパイプ役となり協議を行っていたことから、地域の要望に応じた迅速かつ細やかな計画が策定できたこと

があげられる

## おわりに

青森県警では、「ゾーン30プラス」は整備後の効果検証が重要と考えており、冬期間の環境変化などによる車両や歩行者の通行状態にどのような影響を及ぼすのか、交通事故の発生抑制効果について、効果検証を進め、これからの整備に活かしていこうと考えております。

今後も「雪国のハンデを克服する」という意気込みで、適切な交通規制に努めてまいります。  
御清聴ありがとうございました。